

大阪精神保健福祉士協会における スーパービジョンへの取り組み

～スーパービジョンこれから普及プロジェクト第4報～

- | | | | |
|-----|-------------------|-----|-------------|
| ○富澤 | 宏輔（大阪人間科学大学） | 金 | 文美（のんびりハウス） |
| 上田 | 幸輝（サポートハウスアンダンテ） | 辻本 | 直子（オラシオン） |
| 森 | 克彦（アンダンテ就労ステーション） | 西川 | 孝（サラダ倶楽部） |
| 安居 | 幸栄（ハートランドしぎさん） | 長谷高 | 純一（にじクリニック） |
| 大垣 | 尚久（丹比荘病院） | | |

本発表の目的

- これまで実施した「SVカフェ」の取り組みを紹介し、この取り組みの目的や**意義**を確認するとともに、（事業の）**今後の展開**について報告する。

➡第4報は、**事業運営の視点**を中心としたまとめ。取り組み報告。

■これまでの発表

- | | | |
|-----|----------|----------------------------------|
| 第1報 | 2015福島大会 | パイロット事業の結果／経過報告（2013年6月～2015年3月） |
| 第2報 | 2016山口大会 | SVR養成講座参加者アンケートの結果／経過報告 |
| 第3報 | 2017大阪大会 | 個別SV終了後アンケートの結果／経過報告 |

事業開始

2013年度総会への提案・承認事項 (⇒法人化に向けて)

(1) SVRの養成

日本精神保健福祉士協会認定SVRや各教育機関等の研究者の協力の下、SVの基礎講座を開催し、SVRを養成する。

(2) SV・ビューローの設置

当協会内にビューローを設置して、契約書式、費用等に関する基本的な仕組みを作る。養成したSVRに登録していただき、SVを希望する会員に対し、情報提供を行って、SVを開始できるよう支援を行う。

本事業におけるSVの定義と目的

(定義)

一般社団法人大阪精神保健福祉士協会が取り組むスーパービジョンとは、『精神保健・医療・福祉の領域で、5年以上のソーシャルワーク実践経験を有する先輩PSW（SVR）が、1年以上の経験を有する新人PSW（SVE）の、対人援助専門職としての学びを、互いの契約に基づき援助する過程』である。

(目的)

SVRがSVEの気づきを大切にした支持的なかかわりをすることにより、SVR－SVEがお互いに対人援助専門職として成長していくことである。

取り組みの経過

<2013・2014年度>

- ・パイロット事業としての個別SVの実践とモニタリング

<2015年度>

- ・実行委員会形式（理事＋協力員）
- ・SVR養成講座の開始
- ・SVR登録、SVE募集を開始。実行委員会によるマッチング。

<2016年度>

- ・（SVRのフォローアップとして）SVカフェの開始

スーパービジョンこれから普及プロジェクト 年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
SV実践	E募集	フォロー担当から マッチング結果の お知らせ	個別SV実施							SV終了報告 アンケート記入	SVR登録 登録更新	SVE募集	
フォローアップ 養成講座	メーリングリストによる交流、情報発信 フォロー担当者との相談												
実行委員会	第1回 (月末) ・マッチング			第2回 (初旬) ・養成講座企画 ・夏カフェ企画 ・個別SVモニタリ ング				第3回 ・養成講座企画 ・SVR登録 ・SVE募集			第4回 ・年度まとめ ・年間計画作成 ・春カフェ企画		
ニュース	発行	締切	発行	締切 (講座募集)	発行	締切	発行	締切	発行	発行 締切 (SVE募集)	発行	締切	

2018年1月作成

養成講座受講者と登録SVの推移



SV実施状況（2016～2018年）



フォローアップの取り組み①

【ペア担当者の配置】

- ペア担当者の役割

マッチングされた2者の相談相手として、必要に応じてSVRとSVE双方の不安を受け止め、SV関係にスムーズに移行できるよう促す。

【実施して見えたこと】

- 養成講座で手続きの説明はしているが、いざ説明する際にSVRに不安があった。
- 手続きや流れは養成講座で説明しているため、SVEはSVRからの説明を聞くまで知らなかった。 ⇒ 2017年から養成講座へのSVを受けたいと考えている人の聴講を認める。

フォローアップの取り組み②

【SVカフェ】

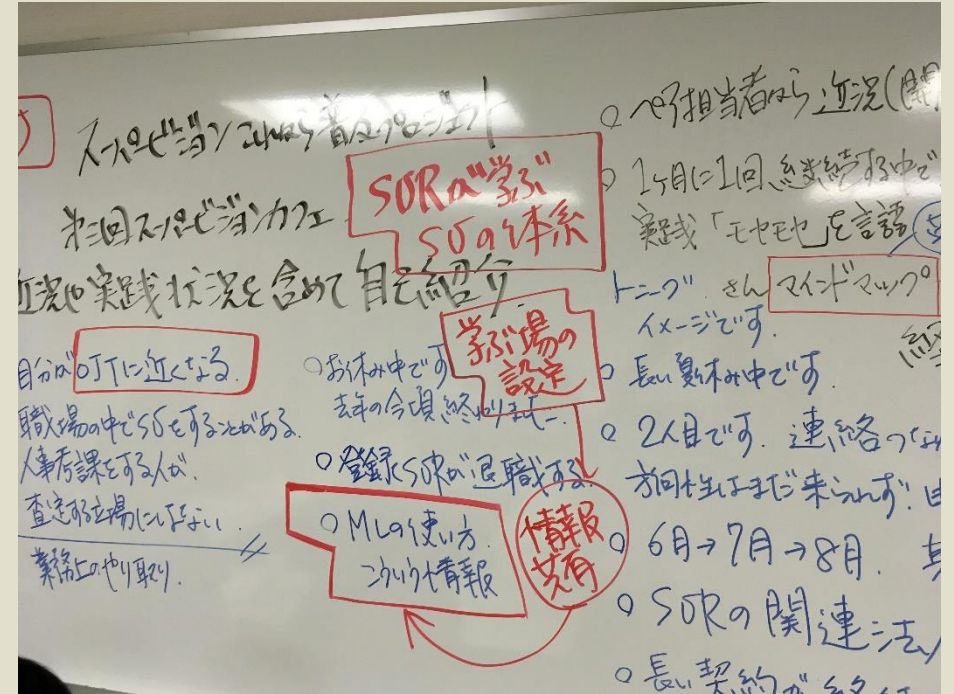
- ・ 時間 2時間／回（平日夜。1回目のみ土曜午後）
第1回（2016.8.27） 第2回（2017.3.21） 第3回（2017.8.22）
第4回（2018.3.1） 第5回（2018.8.29）
 - ・ 参加者 7～11名／回
 - ・ 内容 **SV実践で感じたこと（気持ち、迷い、工夫、反省）**
- ⇒ これらの語りについての詳報は、第5報

SVカフェ 第1回



* 写真の使用については、本事業に関わるものとする旨の承諾を得ています。

SVカフェ 第3回



* 写真の使用については、本事業に関わるものとする旨の承諾を得ています。

SVカフェの「語り」を受けた 運営の改善

- ・ 実施場所の確保が困難 ➡ 協会事務所の使用開始。ルールを作成。
登録SVRのMLに、担当者が使用可能日を案内し、調整。
- ・ マッチングから契約に至る過程の不安への対応 ➡ ペア担当者の役割の見直し
- ・ 書式の改善 ➡ 6か月（月1回）を1クールとした実施の明確化
6か月経過した時点で終了後アンケートを送付
- ・ 「終了」の明確化 ➡ 6か月（月1回）の1クールで終了。
継続は双方が合意して実施。ペア担当者の役割は終了。

SVカフェの意義

【カフェの語りから見えたこと】 ※詳細は、第5報

- ①SVR自身が実践を語ることで、自身の実践を言語化できる
 - ②他者の実践を聞くことで、自身の実践の振り返りや新たな知見を得ることができる
 - ③自身の語りと他者の実践を聞き意見交換することで、SVRとしてSVEの気づきを大切にした支持的なかかわりの重要性を再認識することができる
- ➡ SVを安心して実施する（セッションに集中する）ためには、運営体制も重要。フォローアップの「語り」を運営体制の見直しに反映させることは大事。

今後の展開

①SVRを対象とした資質向上の取り組み（SVカフェ、養成講座）

②継続的なSVの普及活動（定期的な会員全体を対象とした研修会の実施）

【実施予定】

- ・ 12月 初任者基礎研修第3回 グループスーパービジョン体験
（*初任者基礎研修については、本分科会の第6演題で報告があります。）
- ・ 3月 全体研修会

☆事業構想から6年目。事業としての個別SVは4年目。

SVRとSVEの語りに重きをおいた事業展開を推進することで、
SV事業の継続とSVの更なる**普及**につなげていきたい

ご清聴ありがとうございました

☆これまでの「スーパービジョンこれから普及プロジェクト」の取り組みは
大阪精神保健福祉士協会HPに掲載しています。
各地域におけるSV普及の取り組みの一助となれば幸いです。

スーパービジョンこれから普及プロジェクト（これプロ）

<https://www.osaka-psw.org/%E3%81%93%E3%82%8C%E3%83%97%E3%83%AD-sv/>

